

## お知らせ

記者発表資料	平成31年3月20日
配布日時	14:00

### 【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

## 中国エリアにおける瀬戸内海クルーズの更なる推進に向けて！ ～「瀬戸内海クルーズ推進会議 第2回中国エリア会議」の開催～

3月25日（月）、中国エリアにおける瀬戸内海クルーズの推進強化を目的に、「瀬戸内海クルーズ推進会議 第2回中国エリア会議」を開催いたします。

今般の会議では、瀬戸内海クルーズ推進会議として進める取組事項に関して、進捗報告を行うとともに、今後の更なる取組みについて、構成員による意見交換を行います。

- 中国エリアにおける瀬戸内海クルーズの更なる推進を目的として「瀬戸内海クルーズ推進会議」の下に設置された「瀬戸内海クルーズ推進会議 中国エリア会議」では、2月7日（火）の第1回会議において、瀬戸内海クルーズの推進に向けた取組みの強化について議論を行ったところです。
- 今般の第2回会議では、第1回会議で議論を行った瀬戸内海クルーズ推進会議中国エリア会議として進める取組事項に関して、事務局（中国地方整備局港湾空港部）から進捗報告を行うとともに、今後の更なる取組みについて、構成員による意見交換を行います。
- 本会議を通じ、中国エリアにおける瀬戸内海クルーズの推進を積極的に進めてまいります。

### ※ 瀬戸内海クルーズ推進会議

瀬戸内海が「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海となることを目指し、沿岸自治体、国の機関で構成する「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の下に、平成30年同会議を設置。

### 記

1. 日 時：平成31年3月25日（月）15:00～16:00
2. 場 所：広島合同庁舎 4号館 2階 共用第11号会議室  
広島県広島市中区上八丁堀6-30（別紙-1参照）
3. 議事次第：瀬戸内海クルーズ推進会議の取組状況について 等
4. 構 成 員：別紙-2参照

### ※ 取材について

- ・取材をご希望の場合は、3月22日（金）16時までに取材申込書にて申し込みをお願いします。なお、当日も取材を受け付けております。会場には報道関係者席を用意しておりますので、当日、受付にお知らせください。
- ・カメラによる撮影は冒頭の「座長の挨拶」までとさせていただきます。傍聴は会議終了まで可能です。
- ・なお、会議終了後、会場において質疑対応を行います。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)

クルーズ振興・港湾物流企画室長 津田 行男 課長補佐 二原 和教

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)

計画企画官 近藤 拓也

中国地方整備局 港湾空港部

クルーズ振興・港湾物流企画室 宛て

FAX : 082-511-3910

「瀬戸内海クルーズ推進会議 第2回中国エリア会議」 取材申込書

平成31年3月 日

所属名	
氏名	ふりがな
連絡先	TEL
	FAX

# 案内図

場所：広島合同庁舎 4号館 2階 共用第11号会議室

住所：広島市中区上八丁堀6-30



## 「瀬戸内海クルーズ推進会議」中国エリア会議 構成員名簿

区分	構成員
重要港湾以上の港湾管理者を兼ねる地方自治体	岡山県
	広島県
	呉市
	山口県
地方自治体	玉野市
	瀬戸内市
	広島市
	竹原市
	三原市
	尾道市
	福山市
	東広島市
	廿日市市
	江田島市
	坂町
	宇部市
	防府市
	岩国市
民間団体等	(一社)中国経済連合会
	(一社)せとうち観光推進機構
	(一社)日本プロジェクト産業協議会
国の機関	中国地方整備局
	中国運輸局

# 「瀬戸内海クルーズ推進会議」について

## 設立の背景

- 瀬戸内海には数多くのクルーズ船の寄港が可能な港湾が存在するもののクルーズ船の寄港地が一部の港湾に限定されていること等、瀬戸内海全体としてクルーズ船寄港による各種需要をうまく取り込めていない状況である。
- 瀬戸内海のクルーズ振興についても、国、自治体、民間団体等が個別に取り組んできており、関係者が一体的にクルーズ振興するためのまとまった推進母体が存在しておらず、対外的に「瀬戸内海クルーズ」を発信する機能が不足していた。

## 設立の趣旨

- 瀬戸内海独自の魅力、特色を活かした独自のクルーズ振興を図り、瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海となることを目指す。
- その取組みを通じて当該海域・地域の振興を目指すとともに世界に誇れる主要な観光圏としての地位向上を目指す。

## 推進会議の設立

- 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の下に、会員及び民間団体等から成る「瀬戸内海クルーズ推進会議」(以下「推進会議」という)を設立する。

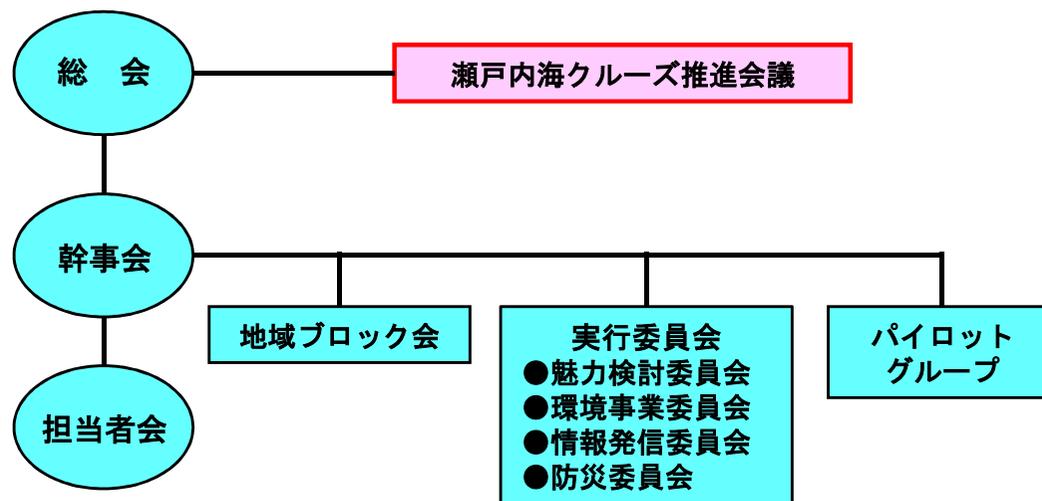
## 推進会議の構成員

- 推進会議は参加を希望する会員及び会員が推薦する民間団体等により構成する。
- 推進会議の事務局は、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿地方整備局、九州地方整備局に置くものとする。なお、総括事務局は中国地方整備局とする。

## 推進会議の主な活動内容

- 瀬戸内海クルーズ振興のための施策提案
- 瀬戸内海クルーズの広報
- その他関連する業務

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 組織図



# 瀬戸内海クルーズ推進会議の推進体制

瀬戸内海クルーズ推進会議は、重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体、民間団体等、国の機関から構成される『全体会議』及び、近畿・中国・四国・九州の各エリアに係る構成員から構成される『エリア会議』から構成。

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

**瀬戸内海クルーズ推進会議** 代表：苅田中国経済連合会会長（中国電力会長）、副代表：千葉四国経済連合会会長（四国電力会長）

**全体会議** 総括事務局：中国地方整備局（港湾空港部）  
事務局：近畿地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局（各港湾空港部）

**【メンバー】**

- ・重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体
- ・広域的活動する民間団体等
- ・国の機関（各地方整備局・運輸局）

**【役割・取組内容】**

- ・瀬戸内海の全体の課題整理
- ・瀬戸内海全体におけるクルーズ振興方策の検討
- ・クルーズ振興に関する取組みの実行及び全体の取組の進捗管理

情報共有  提案・報告

## エリア会議

**【メンバー】**

- ・各エリアの重要港湾以上の港湾管理者をかねる地方自治体
- ・各エリアの民間団体等
- ・各エリアの地方自治体
- ・各エリアの国の機関（各地方整備局・運輸局）

**【役割・取組内容】**

- ・各エリアの課題整理
- ・各エリアのクルーズ振興方策の検討
- ・クルーズ振興に関する取組みの実行及びエリアの取組の進捗管理

**近畿エリア会議**

事務局：近畿地方整備局  
（港湾空港部）

**中国エリア会議**

事務局：中国地方整備局  
（港湾空港部）

**四国エリア会議**

事務局：四国地方整備局  
（港湾空港部）

**九州エリア会議**

事務局：九州地方整備局  
（港湾空港部）

# 瀬戸内海クルーズ推進会議の取組み

○クルーズを振興する上で、ハード面・ソフト面ともに十分なものが船社・代理店・旅客等に提供が出来ていない。このことを課題としてまず関係者で認識し、解決に向けて瀬戸内海クルーズ推進会議では主に5つの取組を進める。

課題	瀬戸内海クルーズ推進会議として進める取組
港湾管理者による外国船社の受入準備(ソフト面・ハード面・人材)が十分に出来ていない。	【取組1】 港湾での受入環境改善
港から観光地へのアクセスも含めたソフトが十分でない。	【取組2】 港から観光地へのアクセス性向上
外国船社に対して瀬戸内海の港湾情報、受入体制の情報が発信出来ていない。	【取組3】 瀬戸内海クルーズとしての情報発信
港湾管理者と外国船社とのつながりが十分でない。	【取組4】 船社への誘致活動
航行や入出港に関する複数のルールが存在するも、外国船社に十分な理解がされていない。	【取組5】 クルーズ船の航行・寄港に関するサポート体制の充実

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(通称:海ネット)

## 海ネットとは

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(通称:海ネット)は平成3年5月に設立され、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を活かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的としている。

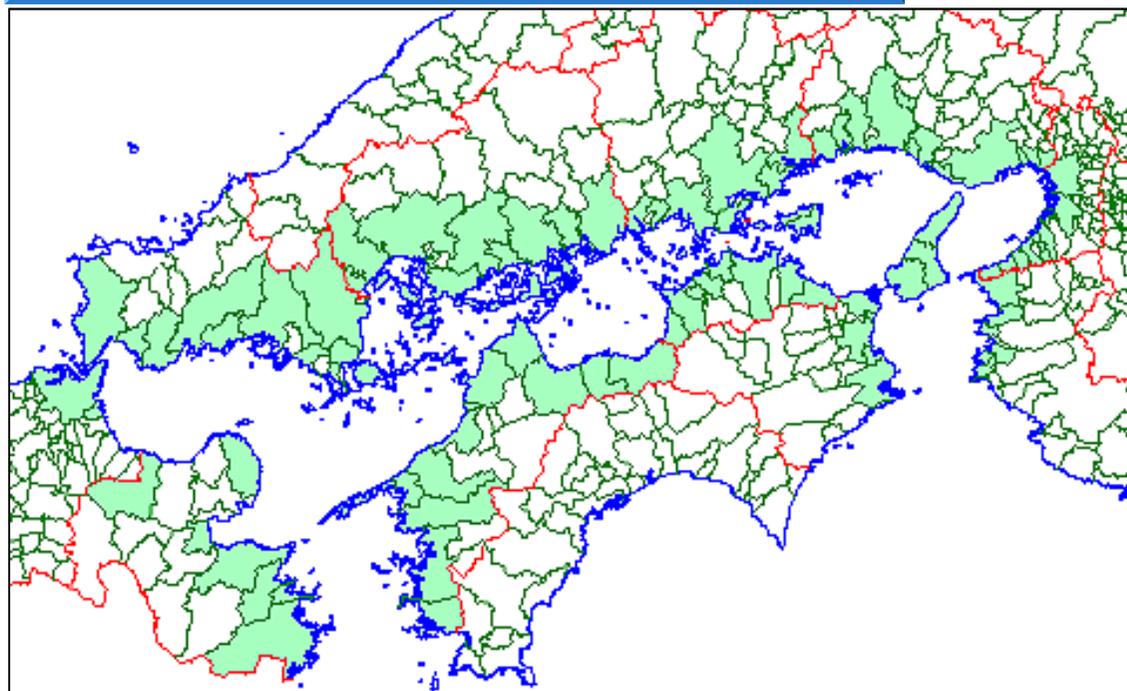
## 海ネットの活動指針

- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震津波に対応した防災ネットワークの整備
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬戸内海的环境創造

## 歴代会長

平成 3年～ 6年	姫路市長	(戸谷 松司)
平成 7年～10年	坂出市長	(松浦 稔明)
平成11年～14年	小松島市長	(西川 政善)
平成15年～18年	玉野市長	(山根 敬則→黒田 晋)
平成19年～20年	下関市長	(江島 潔→中尾 友昭)
平成21年～26年	大竹市長	(入山 欣郎)
平成27年～	和歌山市長	(尾花 正啓) ※敬称略

## 海ネット会員(127会員:平成30年6月1日現在)



- ・瀬戸内海沿岸の107市町村、
- ・11府県
- ・国土交通省9地方機関